

No.01

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に消防本部、消防署及び消防出張所が配置されており、総員389名（平成30年10月1日現在）の消防職員が各所属で毎日勤務又は2交替制勤務（24時間勤務）に従事しているが、これら施設の維持管理や環境整備を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
50,071 千円		50,071 千円		50,071 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防職員数及び年間来庁者数：7,094人	対象1人あたり	7,058 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

担当課室	消防本部総務課	事業名	音楽隊運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防音楽隊は、主に非常勤嘱託職員で構成されており、消防（又は市）の行事や式典のほか、小中学校での演奏活動、高齢者福祉施設への慰問など年間約40回の演奏活動を実施している。これらの活動は、火災予防等の啓発活動や生涯学習の一翼を担っており、その演奏活動等の運営管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
26,986 千円		26,932 千円		26,932 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△54 千円		0 千円	
KPI	受益者など（見込）	演奏会聴衆者数：20,334人	対象1人あたり	1,324 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、器具修繕料等を見直して一部減額した。				

No.03

担当課室	消防本部総務課	事業名	教育・研修事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員の資質向上のため、基礎・専門知識を学ぶ愛知県消防学校や、より高度な専門知識を学ぶ消防大学校への入校、外郭団体が行う研修会や講習会への参加及び業務に従事するのに必要な資格の取得を推進し、多様化する社会に対応できる職員を育成する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
13,050 千円		13,050 千円		13,050 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防学校及び研修等受講者数：106人	対象1人あたり	123,113 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.04

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	消防通信指令事業	事業区分	その他事業
事業概要	119番通報の受信、消防隊等への出動指令及び消防救急無線等を活用した通信統制業務を稲沢市と共同で実施する。また、これらの業務を継続するために、指令機器をはじめ、消防救急無線、消防本部内の通信ネットワーク等の機器を適切に維持管理し、消防通信の安定稼働を図る。 なお、平成31年度から外国人の119番通報時等に対応するため、電話通訳センターを介した三者間同時通訳業務を委託する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
43,395 千円		43,351 千円		43,351 千円	
△44 千円		0 千円			
K P I	受益者など (見込)	119番受信件数 : 32,382件	対象1件あたり	1,338 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、一宮消防署本署指令車の要求が見送られたことに伴い、付属品部分の購入費を減額した。				

No.05

担当課室	消防本部予防課	事業名	災害用街頭消火器等整備事業	事業区分	その他事業
事業概要	震災対策事業として地域住民の初期消火体制に万全を期すため、市内全域に設置している街頭消火器の定期的な更新を行うなどの維持管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
6,398 千円		6,284 千円		6,284 千円	
△114 千円		0 千円			
K P I	受益者など (見込)	街頭消火器設置本数 : 9,925本	対象1本あたり	633 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、実績に合わせ街頭用消火器の薬剤充填の数量を見直して一部減額した。				

No.06

担当課室	消防本部予防課	事業名	予防活動事業	事業区分	その他事業
事業概要	火災予防普及啓発活動として、火災予防運動、消防フェア（「きて・みて・たいけん138」）、児童防火作品の募集・展示等を実施する。また、防火管理者の養成、危険物施設や事業所への防火指導等を行い、防火管理体制の確立に努める。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
2,568 千円		2,568 千円		2,568 千円	
0 千円		0 千円			
K P I	受益者など (見込)	火災予防普及啓発活動(消防フェア、児童防火作品)参加者数 : 11,090人	対象1人あたり	231 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

担当課室	一宮消防署本署	事業名	警防事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場で主に消火活動を実施するとともに救急隊の支援活動等も実施している。平常時は防火対象物の立入検査や市民を対象とした消火器取扱訓練等の火災予防活動を行い、さらには常に訓練を行い災害活動に万全を期している。また、これらの警防業務執行に必要とされる物品等の購入等の警防活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
28,584 千円		28,378 千円		28,378 千円	
		△206 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	火災等出動件数 : 3,128件		対象1件あたり	9,072 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、新たに導入する冷却ベスト用保冷剤の数量等を見直して一部減額した。				

No.08

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急救命士教育養成事業	事業区分	その他事業
事業概要	救急救命士とは、医師の指示の下に救急救命処置を行うことができる国家資格を有する者であり、心肺停止を含む重症傷病者に対して適切な処置をすることができ、救命率の向上にも寄与している。本事業は、現救急救命士の資質向上のための教育及び新規救急救命士資格取得者の養成事業である。				
マニフェスト	24 消防団庁舎の整備、団員の確保とともに、救急隊配置署所の増強や、救急救命士の養成を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
7,128 千円		7,128 千円		7,128 千円	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	救急救命士数 : 90人		対象1人あたり	79,200 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場では主に傷病者に高度な救命処置を行いながら医療機関へ搬送する活動を行う事業である。平常時は応急手当の普及啓発のため救命講習等を実施し、常に処置訓練や内部研修会を行い、救急活動に万全を期している。また、これらの救急業務執行に必要とされる物品等の購入等の救急活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
24,776 千円		24,566 千円		24,566 千円	
		△210 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	救急出動件数 : 17,381件		対象1件あたり	1,413 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、救急フェア配布用ホルダーの在庫数を精査し数量等を見直して一部減額した。				

No.10

担当課室	一宮消防署本署	事業名	救助事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場で主に火災や交通事故での脱出不能者を救出する活動を行う事業である。平常時は各種救助資器材や救助技術を活用し、あらゆる災害・事故による負傷者等を安全、確実、迅速に救出できるよう常に訓練を行い、災害活動に万全を期している。また、これらの救助業務執行に必要とされる物品等の購入等の救助活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
10,339 千円		9,965 千円		9,965 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△374 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	救助出動件数 : 229件		対象1件あたり	43,515 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、救助訓練用消耗品費を見直して一部減額した。				

No.11

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計66台 (平成31年4月1日現在) 所有している。各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品等の購入管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
35,054 千円		35,132 千円		35,132 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		+78 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	消防車両等台数 : 66台		対象1台あたり	532,303 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、一宮消防署本署指令車の更新にかかる要求が見送られたことに伴い、現行車両の維持管理費用等を増額した。				

No.12

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団組織運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防団は25分団で構成され、約500人が在籍しているが、その身分は特別職の地方公務員であり、消防団員の年間報酬、災害出動や訓練参加に対する手当、公務災害補償費等の支給などの運営管理を行う。また、消防団の業務執行に必要とされる物品等の購入等の消防団組織全体に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	24 消防団庁舎の整備、団員の確保とともに、救急隊配置署所の増強や、救急救命士の養成を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
89,211 千円		89,211 千円		89,211 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	消防団員数 H30.10.1現在 : 536人		対象1人あたり	166,438 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.13

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団施設等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内25箇所に消防団庁舎が配置されており、これら施設や消防車の維持管理を実施する。また、計25台の消防車を所有しているが、各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品や消防団員が使用する装備品等の購入管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
14,463 千円		14,463 千円		14,463 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	消防団員数H30.10.1現在:536人		対象1人あたり	26,983 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.14

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に消防本部、消防署及び消防出張所が配置され、同じく25箇所に消防団庁舎が配置されているが、これらの施設を適正に維持管理するため、改修工事や修繕工事等を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
65,159 千円		39,175 千円		39,175 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△25,984 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	消防職員数及び消防団員数H30.10.1現在:925人		対象1人あたり	42,351 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、出張所2か所の仮眠室の個室改修工事費及び尾西消防署3階部分の空調設備改修工事費の計上を見送った。丹陽消防出張所敷地内の消防訓練施設の解体及び消防職員・団員の訓練スペース確保のための跡地整備については、部分的な舗装改修に留めることも検討したが、費用的なメリットが得られない見通しのため全面舗装での事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.15

担当課室	消防本部総務課	事業名	消火栓維持管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	主に火災時に使用する消火栓や防火水槽等は、市内各所に配置されており、これらの消火栓や防火水槽等を維持管理し、新たな消火栓等の設置も計画的に実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
74,827 千円		74,827 千円		74,827 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	公設水利(消火栓、防火水槽、防火井戸)数:5,001基		対象1基あたり	14,962 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.16

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両更新管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計66台、消防団員が使用する消防車両を計25台（平成31年4月1日現在）所有している。 各車両を適正に維持管理していくため、使用年数等に応じた計画的な更新若しくは新規車両の購入を実施している。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
56,474 千円		52,596 千円		52,596 千円	
△3,878 千円		0 千円			
KPI	受益者など (見込)	一宮市 H30.10.1現在人口 : 385,709人		対象1人あたり	136 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、一宮消防署本署指令車の計上を見送った。				

No.17

担当課室	消防本部総務課	事業名	防火水槽設置事業	事業区分	投資的事業
事業概要	震災時等に有効な耐震性を有する防火水槽（40㎡型）を不足している地域に整備する。 平成31年度は、葉栗連区（葉栗南分団庁舎敷地内）への設置を計画する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
15,816 千円		15,816 千円		15,816 千円	
0 千円		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	葉栗連区H30.10.1現在人口 : 16,915人		対象1人あたり	935 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断し平成31年度の設置計画は認めた。				

No.18

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	はしご付消防自動車更新事業	事業区分	投資的事業
事業概要	2市1町の合併以後、はしご付消防自動車を2台所有しているが、2台とも平成31年度中にNox・PM法により使用できなくなるために、平成31年度に1台更新をするもの。なお、平成30年度で1台整備済みである。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
183,654 千円		0 千円		183,654 千円	
△183,654 千円		+183,654 千円			
KPI	受益者など (見込)	一宮市H30.10.1現在人口 : 385,709人		対象1人あたり	476 円
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留にしたが、事業の優先度を再検討した結果、国からの補助金を受けられる見込みとなり費用対効果が高いと判断し、要求額通りに計上した。				

No.19

担当課室	消防本部総務課	事業名	水防管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町及び扶桑町で構成されている尾張水害予防組合は、構成市町区域内の木曾川をはじめ各河川及び池沼等の水災に対応するため、水防上必要な施設等の維持管理及び必要な事項の連絡調整を図るなどの事業を実施しており、同事業に要する経費を構成市町が負担している。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)
6,918 千円	6,918 千円	0 千円		6,918 千円	0 千円
K P I	受益者など (見込)	水防団員数H30.10.1現在 : 536人		対象1人あたり	12,906 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				